資料４

京都市生物多様性プランの進捗について

１　京都市生物多様性プランの進行管理について

京都ならではの自然環境や伝統文化を後世に受け継いでいくため，目指すべき生物多様性保全の方向性を示す「京都市生物多様性プラン～生きもの・文化豊かな京都を未来へ～」（以下「プラン」という。）では，以下の通り進行管理の考え方が示されている。

〔進捗管理〕
「２０２０（平成３２）年度までに達成すべきこと」に向けて効果的に取組が進むよう，部会において，評価や進捗管理の手法について検討する。検討した内容に基づき，評価を行い，進捗管理を行う。
〔プランの見直し等〕
生物多様性の状況は，自然環境や社会情勢の変化に伴って変化する。順応的管理手法（PDCA）に基づき，評価，検討を行い，必要に応じて，プランの見直しを行うことにより，状況に応じたプランとし，プランに掲げる「あるべき姿」へと導く。
（プラン本編７８ページ）

そのため，事業の評価や進捗管理の手法等について部会を中心に検討していただく必要があるが，当面は，プランの施策の方向性に沿ったリーディング事業を着実に推進し，指標設定のためのデータを蓄積していくこととしたい。

（評価及び進捗管理手法のイメージ）
・生物多様性に関する認知度（アンケート調査による）
・京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定件数
・自然観察会参加者数
・まちかど生きもの観察記応募件数
・京都市生物多様性保全活動登録制度の登録件数
・ホットスポットにおける生物種数

２　京都市生物多様性プランの取組状況について

プランの策定（平成２６年３月）から現在までの取組状況について，リーディング事業を中心に報告する。

⑴　生きものの生息環境の保全

ア　京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度

京都の祭りや文化を支えてきた生きものの保全・再生のため，活動していただく団体の取組を認定し，必要に応じて技術的な支援のための専門家を派遣する「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度」を創設し，推進している。創設以降，１０件のプロジェクトを認定している（平成２７年９月末現在）。（**別紙１**　１ページ参照）

認定番号	プロジェクト推進者	取組内容	認定年度
1	京都水族館	チマキザサ及びフタバアオイを取り入れた展示	平成 26 年度
2	日新電機株式会社	生物多様性に配慮した緑地の新設・整備	平成 26 年度
3	特定非営利活動法人 ＫＥＳ環境機構	フタバアオイ及びフジバカマの保全（96 事業所）	平成 26 年度
4	株式会社京都放送	自社敷地内で育てた原種のフジバカマの展示等	平成 26 年度
5	株式会社洛西ガーデン	自社敷地内の農園でのフタバアオイの保全	平成 26 年度
6	特定非営利活動法人 伏見クラブ	集合住宅内の緑地でのフタバアオイ等の保全	平成 26 年度
7	株式会社松栄堂	希少植物の育成・保護及び当該植物の店頭公開	平成 26 年度
8	松尾学区自治連合会	自治連合会管理の公園でのフタバアオイの保全	平成 27 年度
9	三菱自動車工業株式会社 パワートレイン製作所	自社敷地内でのフタバアオイ等の保全	平成 27 年度
10	特定非営利活動法人 ＫＥＳ環境機構	ヒオウギ及びキクタニギクの保全（35 事業所）	平成 27 年度

⑵　理解し行動する市民の支援～人づくり～

ア　京の生きものホットスポット調査

市内の生物多様性保全上重要な場所（ホットスポット）において，活動団体等と連携し，生きものの生息状況のモニタリング調査を行っている。この調査に加え，市内の大学（京都精華大学，京都学園大学，京都大学（予定））と連携し，大学キャンパス内の緑地などに生息する生きものの調査を大学生の協力を得て実施している。（**別紙１**　３ページ参照）

イ　親子生きもの探偵団

京都市の生物多様性の保全に向けた行動の必要性を理解していただくための環境教育・普及啓発の一環として，親子を対象にした自然観察会「親子いきもの探偵団」を開催している。これまでに８回開催し，延べ３０７名が参加している。(**別紙１**　３ページ参照)

平成２６年度開催実績

	場所	参加者数
第１回	京都御苑	３９名
第２回	深泥池	２９名
第３回	野鳥の森・探鳥路～法然院森のセンター	３８名

平成２７年度開催実績

	場所	参加者数
第１回	京都水族館	４７名
第２回	京都御苑	３９名
第３回	洛西ニュータウン（小畑川，洛西竹林公園）	３７名
第４回	京都市動物園	３８名
第５回	桂川河川敷	４０名

ウ　地域生きもの探偵団

生物多様性の大切さや豊かな地域の魅力を学ぶことを目的として，市内の小学校・児童館が授業等で実施する生きものの観察に，本市が専門家を派遣し，児童が多様な生きものたちのつながり等について学ぶことができる「地域生きもの探偵団」を実施している。これまでに４回開催し，１９７名の児童が参加している。(**別紙１**　５ページ参照)

	場所	参加児童数
第１回（上賀茂小学校編）	上賀茂神社　ならの小川	８２名
第２回（下京渉成小学校編）	東本願寺　渉成園	３６名
第３回（境谷小学校編）	大蛇ヶ池公園	４２名
第４回（境谷小学校編）	小畑川	３７名

エ　まちかどいきものマップ及びまちかど生きもの観察記

平成２６年度は，子どもたちが，外に出て自然にふれ，色々な生きものに興味を持つきっかけとしていただくため，地域・学区等での身近な「まちかどいきものマップ」(家や学校の周辺等の生きものを見つけ地図上に表したもの）を募集し，９２点の作品を応募いただき，特に優れている１７点を表彰した。

平成２７年度は，作品の形態を限定せず，絵画や観察日記など，応募者がより自由な作品作りに取り組めるようにした，「まちかど生きもの観察記」を新たに募集している (募集期間 : 平成２７年７月１日～１１月３０日)。(**別紙１**　６ページ参照)

オ　京都生きもの１００選

京都市内で四季折々に見られる生きもの等，身近な自然に関する情報１９７件から市民投票等により「京都生きもの１００選」を選定し，広く市民等に生物多様性に触れる機会が増えるよう，更には１００選の保全活動への参加につながるよう，取組を進めていく。(別紙１　６ページ参照)

カ　普及啓発イベントの開催

市民や事業者等との共汗により，生物多様性保全活動の輪が広がることを目的とした「セミナー」の開催や，京都市の施策や事業等について担当部署の職員が出向いて説明を行う「京都市政出前トーク」のほか,「ＫＥＳエコロジカルネットワーク参加団体説明会」などの外部主催の勉強会等も活用し，生物多様性保全のための普及啓発を積極的に推進している。(別紙１　７ページ参照)

キ　普及啓発資料の発行

生物多様性保全について，広く市民や事業者に理解していただくため，普及啓発冊子及びチラシを発行している。(別紙１　８ページ参照)

⑶　活動を促す仕組みとネットワークの構築～ネットワークづくり～

ア　京・生きものミュージアム～京都市生物多様性総合情報サイト～（平成２６年１０月開設）

生物多様性に関する様々な情報を収集・発信するとともに，市民，活動団体，事業者など多様な参加者を結び付ける役割を担う生物多様性専用ホームページ「京・生きものミュージアム～京都市生物多様性総合情報サイト～」を開設し，活用している。開設以降，１１，０１５回（月平均１，００１回）の閲覧があり，２，２４５件の生きもの発見報告が寄せられている（平成２７年９月末現在)。(別紙１　９ページ参照)

イ　京都市生物多様性保全活動登録制度

生物多様性保全活動に参加を希望する市民の皆様と，市民の皆様の協力を希望する保全活動団体を結び付ける,「京都市生物多様性保全活動登録制度」を創設し，運用している。登録の受付や制度の運用は,「京・生きものミュージアム」において行っている。これまでに，２７名の個人と８団体が登録されている（平成２７年９月末現在)。(別紙１　９ページ参照)

別紙１　リーディング事業取組報告

別紙２　京都市における生物多様性保全に関する事業一覧

別紙１

リーディング事業取組報告

リーディング事業

施策の方向性①　生きものの生息環境の保全

京（みやこ）の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度

京都市では，京都の祭りや文化を支えてきた生きものの保全・再生のため，活動していただく団体の取組を認定し，必要に応じて技術的な支援のための専門家を派遣する制度を平成２６年９月に創設し，京都ならではの自然環境や伝統文化を後世に受け継ぐための取組を推進しています。

○趣旨

葵祭で使われるフタバアオイ，祇園祭の粽に欠かせないチマキザサ，おけら詣りで焚くオケラ及び源氏物語に登場するフジバカマなど，本市の伝統文化を育んできた本市固有の生態系の保全を図ることを目的として，

⑴　京都の祭りや文化を支えてきた生きものの保全・再生のため，活動していただく団体の取組を認定します。

⑵　必要に応じて技術的な支援のための専門家を派遣します。

○制度の概要

①　認定を受けるには，申請が必要です。

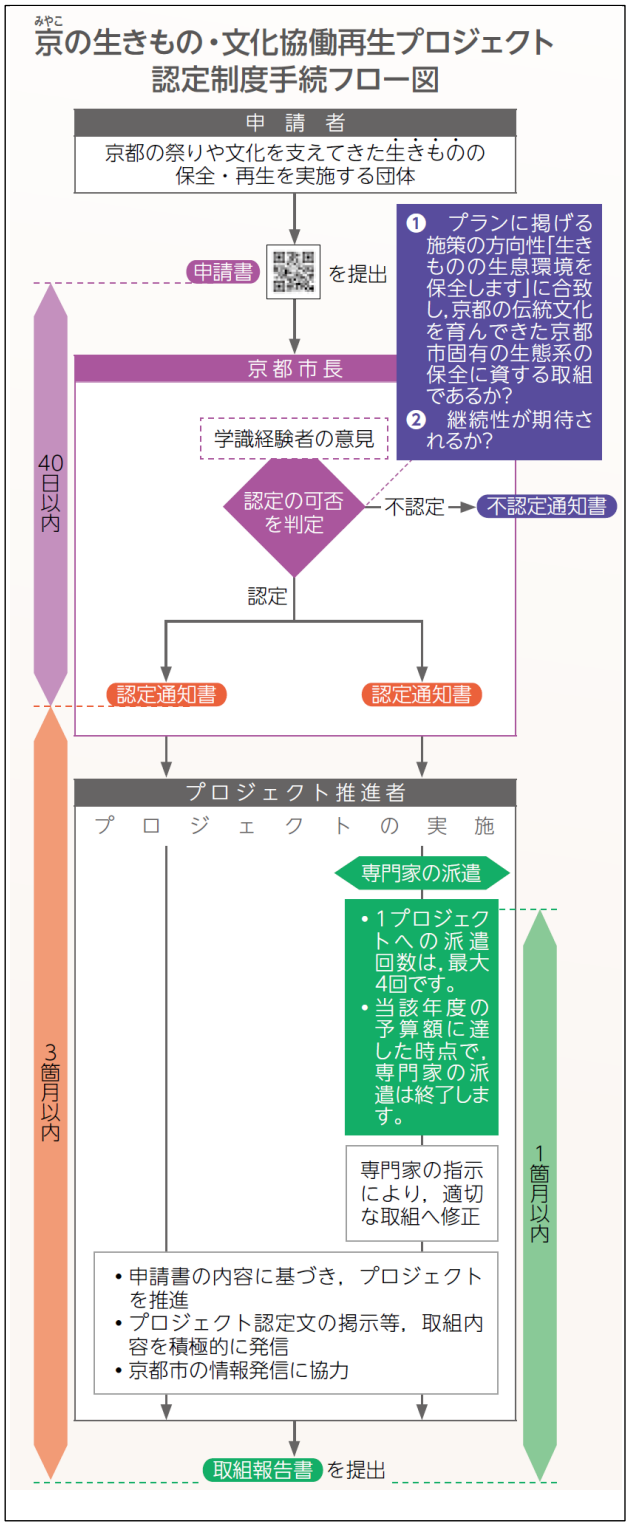
②　申請していただいた取組内容について，学識経験者の意見を聞いて，認定又は不認定を決定します。

③　認定された場合は，申請された内容に基づき，プロジェクトを進めていただきます。

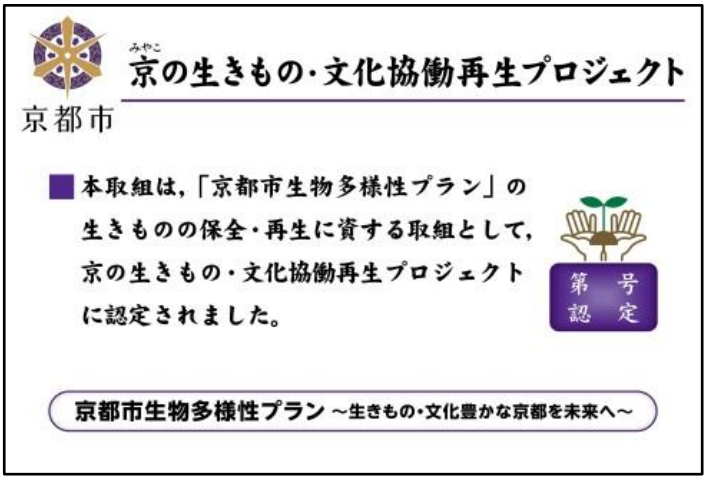
④　プロジェクト認定文（下記参照）を取組場所に掲示していただきます。

⑤　認定された日から３箇月以内に取組結果を報告していただきます。

※　認定したプロジェクトについては，京都市から積極的に情報発信を行います。



プロジェクト認定文



詳しくはこちら（http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000187608.html）

○認定状況

創設以降，１０件（平成２７年９月末現在）のプロジェクトを認定し，生きものの保全・再生の取組を推進しています。（http://ikimono-museum.com/column/culture/）

第１号認定

京都水族館

（取組内容）

チマキザサ及びフタバアオイを取り入れた展示，祭事への提供等

フタバアオイの展示

第２号認定

日新電機株式会社

（取組内容）

生物多様性に配慮した緑地の新設・整備

新設・整備した緑地

第３号認定

特定非営利活動法人

ＫＥＳ環境機構

（取組内容）

ＫＥＳ登録事業所（９６事業所）でのフタバアオイ及びフジバカマの保全，祭事への提供

事業所で保全しているフジバカマ

第４号認定

株式会社京都放送

（取組内容）

自社敷地内で育てた原種のフジバカマの展示等

「和の花展」で展示のフジバカマ

第５号認定

株式会社洛西ガーデン

（取組内容）

自社敷地内の農園でのフタバアオイの保全及び祭事への提供

育成したフタバアオイの松尾大社への奉納

第６号認定

特定非営利活動法人

伏見クラブ

（取組内容）

集合住宅内の緑地でのフタバアオイ等の保全，展示及び祭事への提供

フタバアオイ等を保全している緑地

第７号認定

株式会社松栄堂

（取組内容）

希少植物の育成・保護及び当該植物の店頭公開

稀少植物の店頭公開

第８号認定

松尾学区自治連合会

（取組内容）

自治連合会が管理する公園でのフタバアオイの保全及び祭事への提供

育成中のフタバアオイ

第９号認定

三菱自動車工業株式会社

パワートレイン製作所

（取組内容）

自社敷地内でのフタバアオイ等の保全及び祭事への提供

取組予定場所

第１０号認定

特定非営利活動法人

ＫＥＳ環境機構

（取組内容）

ＫＥＳ登録事業所（３５事業所）でのヒオウギ及びキクタニギクの保全

事業所が保全しているヒオウギとキクタニギク

施策の方向性②　理解し行動する市民の支援　～人づくり～

京（みやこ）の生きものホットスポット調査

平成２６年度から市内の生物多様性保全上重要な場所（ホットスポット）において，活動団体等と連携し，生きものの生息状況のモニタリング調査を行っています。

平成２７年度からは，この調査に加え，さらに調査地点を増やす観点から，市内の大学（京都精華大学，京都学園大学，京都大学（予定））と連携し，大学キャンパス内の緑地などに生息する生きものの調査を大学生の協力を得て実施しています。

ホットスポットの例：京都御苑，梅小路公園いのちの森

親子生きもの探偵団

京都市の生物多様性の保全に向けた行動の必要性を理解していただくための環境教育・普及啓発の一環として，親子を対象にした自然観察会「親子いきもの探偵団」を，平成２６年度からこれまでに８回開催し，延べ３０７名に参加いただきました。

平成２６年度

第１回親子生きもの探偵団　京都御苑
開催日：平成２６年７月２８日（月）
応募者：９６名　参加者：３９名
講　師：板倉　豊　　氏（京都精華大学　教授）
　　西台　律子　氏（京都自然観察学習会講師）
内　容：アオバズクの食痕の観察など，食を通じた生きものたちのつながりを学びました。

第２回親子生きもの探偵団　深泥池
開催日：平成２６年８月１１日（月）
応募者：２０２名　参加者：２９名
講　師：竹門　康弘　氏（京都大学　准教授）
　　成田　研一　氏（深泥池自然観察会）
内　容：深泥池で水生昆虫などを採集し，顕微鏡を使って詳しく観察しました。

第３回親子生きもの探偵団　野鳥の森・探鳥路～法然院森のセンター
開催日：平成２６年１０月２６日（日）
応募者：８９名　参加者：３８名
講　師：久山　喜久雄　氏（フィールドソサイエティー代表）
　　梶田　　学　　氏（日本野鳥の会会員）
内　容：野鳥の森で野鳥，琵琶湖疏水で魚などの生きものを観察しました。

平成２７年度

第１回親子生きもの探偵団　京都水族館

京都水族館との連携事業

開催日：平成２７年５月２４日（日）
応募者：２１２名　参加者：４７名
講　師：下村　実　　氏（京都水族館　館長）
　　關　慎太郎　氏（京都水族館　副館長）
内　容：オオサンショウウオの餌やりを見学したほか，京の里山ゾーンで生きものを観察しました。

第２回親子生きもの探偵団　京都御苑

開催日：平成２７年７月２９日（水）
応募者：８４名　参加者：３９名
講　師：板倉　豊　　氏（京都精華大学　教授）
　　西台　律子　氏（京都自然観察学習会講師）
内　容：アオバズクやカエル，トンボ，様々な植物などを題材に，生きものの親子について学びました。

第３回親子生きもの探偵団　洛西ニュータウン

開催日：平成２７年８月３日（月）
応募者：７３名　参加者：３７名
講　師：板倉　豊　　氏（京都精華大学　教授）
　　渡邊　政俊　氏（京都市洛西竹林公園　専門員）
内　容：小畑川で水生生物を観察し，洛西竹林公園で竹細工（笛，竹トンボ）作りを体験しました。

第４回親子生きもの探偵団　京都市動物園

開催日：平成２７年８月１３日（木）
応募者：１７３名　参加者：３８名
講　師：京都市動物園職員　ほか
内　容：動物園内で生きものの調査を行いました。噴水池ではザリガニやアメンボ，京の森ゾーンではオタマジャクシやバッタ，トンボなどを見つけることができました。

第５回親子生きもの探偵団　桂川

開催日：平成２７年１０月１０日（土）
応募者：９１名　参加者：４０名
講　師：畠　佐代子　氏（全国カヤネズミ・ネットワーク　代表）
　　八木　義博　氏（乙訓の自然を守る会（カヤネズミ研究会））
内　容：桂川の河川敷で，植物の葉で作られたカヤネズミの巣を観察し，その生態を学びました。

地域生きもの探偵団

生物多様性の大切さや豊かな地域の魅力を学ぶことを目的として，市内の小学校・児童館が授業等で実施する生きものの観察に，本市が専門家を派遣し，児童に多様な生きものたちのつながり等について解説する「地域生きもの探偵団」を平成２７年度から実施しています。

第１回地域生きもの探偵団（上賀茂小学校編）　京都水族館との連携事業

開催日：平成２７年７月１１日（土）
場　所：上賀茂神社　ならの小川
参加者：８２名
講　師：下村　実　　氏（京都水族館　館長）
　　關　慎太郎　氏（京都水族館　副館長）
内　容：上賀茂神社の境内を流れる「ならの小川」で，「たも網」による生きもの調査と「投網」を体験し，捕まえた生きものの生態等を解説していただきました。

第２回地域生きもの探偵団（下京渉成小学校編）

開催日：平成２７年８月３１日（月）
場　所：東本願寺　渉成園
参加者：３６名
講　師：河合　嗣生　氏（環境カウンセラー）
　　西台　律子　氏（京都自然観察学習会講師）
内　容：東本願寺渉成園で，植物，虫，野鳥など様々な生きものを発見しました。発見した生きものについては，写真を使いその特徴などを解説していただきました。

第３回地域生きもの探偵団（境谷小学校編）

開催日：平成２７年９月４日（金）
場　所：大蛇ヶ池公園
参加者：４２名
講　師：河合　嗣生　氏（環境カウンセラー）
　　西台　律子　氏（京都自然観察学習会講師）
内　容：大蛇ヶ池公園で，植物，虫，野鳥などの生きものを観察し，教室でその特徴などを解説していただきました。

第４回地域生きもの探偵団（境谷小学校編）　京都水族館との連携事業

開催日：平成２７年１０月１３日（火）
場　所：小畑川
参加者：３７名
講　師：下村　実　　氏（京都水族館　館長）
　　關　慎太郎　氏（京都水族館　副館長）
内　容：小畑川で，「投網」の体験や，魚をはじめとする水生生物の観察を行いました。教室に戻った後は，生態系について解説していただきました。

まちかどいきものマップ

平成２６年度は，子どもたちが，外に出て自然にふれ，色々な生きものに興味を持つきっかけとしていただくため，地域・学区等での身近な「まちかどいきものマップ」（家や学校の周辺等の生きものを見つけ地図上に表したもの）を募集しました。９２点の作品を応募いただき，特に優れている１７点を表彰しました。また，ゼスト御池での受賞作品の展示及び区役所での応募作品の展示を行いました。

個人の部最優秀賞

団体の部最優秀賞

展示の様子

まちかど生きもの観察記

平成２７年度は，子どもたちが本市の豊かな自然に触れ，生きもののつながりの大切さなどについて理解を深められるよう，身近なまちかどで発見した生きものの情報を作品にした「まちかど生きもの観察記」を募集しています。御応募いただいた作品は，審査のうえ，優秀作品の表彰等を行います。従前の「まちかどいきものマップ」は生きものの情報を地図上に表現したものに限定して募集を行っていましたが，「まちかど生きもの観察記」は，作品の形態を限定せず，絵画や観察日記など，応募者がより自由な作品作りに取り組めるようにしています。

京都生きもの１００選

京都市内で四季折々に見られる生きもの等，身近な自然に関する情報１９７件から市民の投票等（投票期間：平成２７年７月１日～平成２７年９月３０日，投票者数：２，６３２人）により「京都生きもの１００選」を選定する予定です。

普及啓発イベントの開催

市民や事業者等の皆様との共汗により，生物多様性保全活動の輪が広がることを目的とした「セミナー」の開催や，京都市の施策や事業等について担当部署の職員が出向いて説明を行う「京都市政出前トーク」のほか，「ＫＥＳエコロジカルネットワーク参加団体説明会」などの外部主催の勉強会等も活用し，生物多様性保全のための普及啓発を積極的に推進しています。

＜これまでに開催したセミナー＞

○京都市生物多様性セミナー
開催日：平成２７年１月３０日（金）
場　所：キャンパスプラザ京都
参加者：１８３名
（概要）
・京都市生物多様性プランとその取組状況について
・京都市生物多様性プランが目指すべき社会
　講演者：湯本　貴和　氏（京都大学霊長類研究所教授）
　　森本　幸裕　氏（京都学園大学教授）
・取組事例紹介
　発表者：上賀茂神社　権禰宜　村松　晃男　氏
　　（NPO 法人葵プロジェクト事務局長）

○学びのフォーラム山科
開催日：平成２７年６月１０日（水）
場　所：京都市生涯学習総合センター山科（アスニー山科）
参加者：２３０名
（概要）
・京都市生物多様性プランについて
・京都の伝統文化を育む自然といのち
　講演者：板倉　豊　氏（京都精華大学教授）

○京都市環境・生きものセミナー
開催日：平成２７年６月２４日（水）
場　所：キャンパスプラザ京都
参加者：１１０名
（概要）
・第１２回京都環境賞受賞者の活動紹介
・京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定団体
　の活動紹介
　コーディネーター：森本　幸裕　氏（京都学園大学教授）
　発表者：特定非営利活動法人 KES 環境機構
　　株式会社松栄堂

普及啓発資料の発行

○生物多様性保全のためにできることがあります！〔チラシ〕

生物多様性について分かりやすく解説するとともに，生物多様性保全のために，日々の生活の中でできる取組を紹介しています。

（平成２６年１０月発行）

○生物多様性保全の取組について〔チラシ〕

市民や事業者の皆様に参加していただける生物多様性保全の取組を紹介しています。

（平成２７年１月発行）

○京都市生物多様性プラン推進のために〔冊子〕

京都市生物多様性プランの概要とリーディング事業に加え，京都の暮らしの中で利用され，親しまれてきた植物についても紹介しています。

（平成２７年１月発行）

○まんが読本「考えてみよう！私たちと生き物とのかかわり」

小学校４年生を対象に，児童自らが，生きもののつながりの大切さや，京都らしさを支える豊かな自然などについて考えることができる内容です。

（平成２７年５月発行）

○京の生きもの発見ガイド〔冊子〕

街中で見られる生きものが持つ興味深い特徴など，市内で見られる多種多様な生きものの生態を紹介しています。

（平成２７年７月発行）

○京都の社寺と生物多様性〔冊子〕

現在作成中

京都ならではの自然環境を形づくる重要な要素である，社寺林や庭園の多様な生きもの紹介しています。

（平成２７年１１月発行予定）

施策の方向性③　活動を促す仕組みとネットワークの構築　～ネットワークづくり～

京（みやこ）・生きものミュージアム～京都市生物多様性総合情報サイト～

京都市では，京都の歴史や伝統文化を育んできた生物多様性に関する情報を配信し，市民の皆様に生物多様性について理解を深めていただくとともに，生物多様性保全活動の輪が京都市全体に広がるよう，市民，活動団体，事業者など多様な参加者を結び付ける役割を担うため，生物多様性専用ホームページ「京・生きものミュージアム～京都市生物多様性総合情報サイト～」を，平成２６年１０月に開設しました。

開設以降，１１，０１５回（月平均１，００１回）閲覧いただき，２，２４５件の生きもの発見報告が寄せられています（平成２７年９月末現在）。

http://ikimono-museum.com/

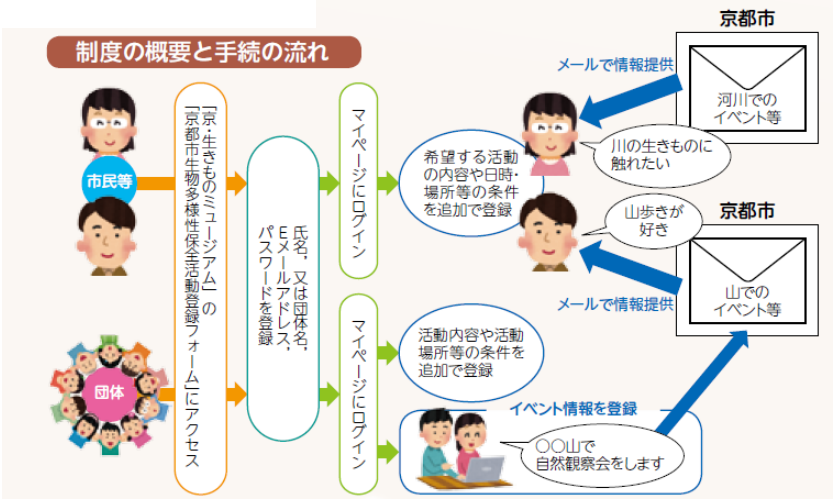
京都市生物多様性保全活動登録制度

本市における生物多様性保全活動が効率的かつ効果的に行われることを目的として，生物多様性保全活動に参加を希望する市民の皆様と，市民の皆様の協力を希望する保全活動団体を結び付ける，「京都市生物多様性保全活動登録制度」を平成２６年１０月に創設しました。登録の受付や制度の運用は，「京・生きものミュージアム」において行っています。

登録していただいた市民の皆様や団体は，生物多様性に関する様々な情報をメールで受け取ることができます。

現在，２７名の個人と８団体に登録いただいています（平成２７年９月末現在）。

登録はこちら
（http://ikimono-museum.com/conservation/）



施策の方向性④　先進的な取組の発展と継承

京都水族館の取組

○京都市と京都水族館の連携

京都市と京都水族館は，自然観察会（生きもの探偵団）などを通じて，京都市の生物多様性の保全を図るため，連携して活動しています。

・平成２７年度第１回親子生きもの探偵団

平成２７年５月２４日に開催した「親子生きもの探偵団」では，京都水族館の下村館長，關副館長に講師を務めていただき，４７名の小学生と保護者の方々に，水族館の生物多様性保全の取組を体感していただきました。まずは，水族館で生息域外保全を行っている，オオサンショウウオへの餌やりなどを見学しました。次に，バックヤードツアーとして，大水槽の上の通路（キャットウォーク）や，人工海水のろ過システムなど，普段は見ることのできない水族館の裏側を，特別に見せていただきました。最後に，京の里山ゾーンでは，水辺で生きもの観察を行いました。水族館の講師の方々には，子供たちが見つけた様々な生きものの生態や，人と生きもののつながりなどを解説していただきました。

・第１回地域生きもの探偵団（上賀茂小学校編）

平成２７年７月１１日に開催した「地域生きもの探偵団」では，京都水族館から下村館長と關副館長を講師としてお招きしました。上賀茂神社の境内を流れる「ならの小川」での生きもの観察に，上賀茂小学校の児童８２名が参加しました。子供たちは定置網の設置を見学し，「たも網」による調査や「投網の体験」を行いました。水族館の講師の方々には，捕まえた生きものについて，単に生きものの名前だけではなく，生きものの外見（模様など）の特徴や，どんな自然環境がないと生息できないか等を丁寧に説明していただきました。

・第４回地域生きもの探偵団（境谷小学校編）

平成２７年１０月１３日に開催した「地域生きもの探偵団」では，第１回同様，水族館から下村館長と關副館長を講師としてお招きしました。今回は，洛西ニュータウン内を流れる小畑川での生きもの観察に境谷小学校の５年生３７名が参加しました。講師の方々の指導のもと「投網の体験」を行った後，子供たちは小さな網を手に生きものを調査し，オイカワ，サワガニ，カワニナなど多様な生きものを見つけることができました。また，講師の方々からは，小畑川で見つけた金魚を題材に，生態系への影響などを分かりやすく説明していただきました。

○京都水族館の里山教室

京都水族館では，稲の成長や周りの木々，生きものたちの変化を通じて季節の移り変わりを体感することができる「京の里山ゾーン」で，田植え体験や稲の収穫体験などに加え，田んぼやその周りにすむ生きものを観察し，里山と人と生きものの関わりについて季節の移り変わりを通して学ぶプログラム，『京都水族館の里山教室』を実施されています。

京都市動物園の取組

京都市動物園では，ニシゴリラ，チンパンジー，グレビーシマウマ，ツシマヤマネコ等の希少野生動物種の生息域外保全や飼育動物を通じた環境教育プログラムの実践など，生物多様性保全に向けた取組を実施しています。

○平成２７年度第４回親子生きもの探偵団

平成２７年８月１３日に開催した「親子生きもの探偵団」では，京都市動物園の職員が講師を務め，３８名の小学生と保護者の方々に参加していただきました。最初に，噴水池でザリガニ釣りを体験し，７４匹のアメリカザリガニを捕まえました。噴水池では，スジエビやコマツモムシ，アメンボなどの生きものを見つけることができました。その後は，「京都の森」に移動し，田んぼや水路で，オタマジャクシやバッタ，トンボなどを見つけました。また，動物園職員からゲンジボタルを復活させる取組の説明を受けました。この取組では，ゲンジボタルの幼虫の餌となるカワニナを放流し定着させて，ゲンジボタルが生息するような環境を目指しています。今回の生きもの観察等を通じて，多様な生きものに触れることで，子供たちには生きもののつながりを実感してもらうことができました。

※京都精華大学人文学部板倉ゼミ及び平成２７年度京都市動物園博物館実習生に御協力いただきました。

「京都の森」（平成２７年９月５日オープン）

京都の豊かな自然を伝え，ヒトと野生動物の関わりが学べる場として，身近な自然に関する情報を展示・提供し，地域の自然環境保全に貢献するとともに，希少淡水魚類の保全・繁殖を行っています。

○京都市動物園におけるゾウの繁殖プロジェクト

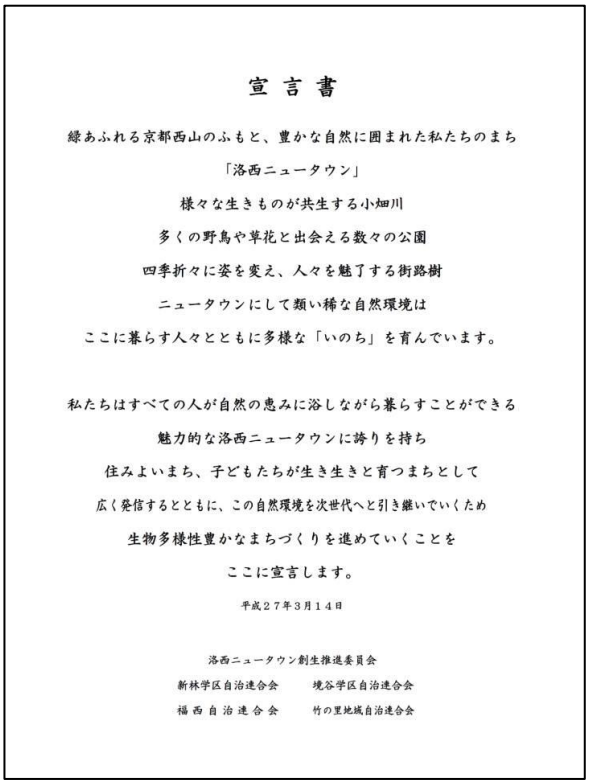
平成２６年１１月１７日に，ラオスから子ゾウ４頭（オス１頭，メス３頭）を寄贈いただき，アジアゾウの繁殖・生息域外保全を目指した研究を行っています。平成２７年度からは京都市とラオスとの間の人材交流を開始しました。人材交流により，飼育，繁殖及び研究の成果をラオス国内に還元し，生息域内保全のための取組を進めていきます。

洛西ニュータウンの魅力あるまちづくり

洛西ニュータウンは「緑豊かな川のあるニュータウン」をコンセプトに建設されました。ニュータウン内を流れる小畑川を中心に，２５の公園に様々な種類の樹木を植樹するなど，地域コミュニティが一体となって，生物多様性豊かなまちづくりを進めています。

○生物多様性まちづくり宣言

「洛西ニュータウンまちづくり交流フォーラム」（平成２７年３月１４日）において，洛西ニュータウン創生推進委員会※と４学区・地域自治連合会が，様々な生きものがすむ豊かな自然に恵まれたニュータウンの魅力を広く発信し，次世代へと引き継いでいくため，地域一体で生物多様性豊かなまちづくりを進めていくことを宣言しました。



宣 言 書

緑あふれる京都西山のふもと、豊かな自然に囲まれた私たちのまち
「洛西ニュータウン」
様々な生きものが共生する小畑川
多くの野鳥や草花と出会える数々の公園
四季折々に姿を変え、人々を魅了する街路樹
ニュータウンにして類い稀な自然環境は
ここに暮らす人々とともに多様な「いのち」を育んでいます。

私たちはすべての人が自然の恵みに浴しながら暮らすことができる
魅力的な洛西ニュータウンに誇りを持ち
住みよいまち、子どもたちが生き生きと育つまちとして
広く発信するとともに、この自然環境を次世代へと引き継いでいくため
生物多様性豊かなまちづくりを進めていくことを
ここに宣言します。

平成２７年３月１４日

洛西ニュータウン創生推進委員会
新林学区自治連合会　境谷学区自治連合会
福西自治連合会　竹の里地域自治連合会

※洛西ニュータウン創生推進委員会

「緑とゆとりを守り，各世代が支えあい心豊かに共生できるまち」の実現に向けて，住民が主体となって洛西ニュータウンのこれからのまちづくりを推進する組織として平成１９年６月に発足しました。

洛西ニュータウン４学区・地域の自治連合会，ラクセーヌ商店会，ホテル京都エミナース，洛西ケーブルビジョン株式会社，京都市住宅供給公社，洛西ニュータウン病院，西京区役所洛西支所の各代表が委員を務めています。

活動について，詳しくはこちら
http://www.rakusainewtown.org/

○楽祭 in らくさい（主催：洛西ニュータウン創生推進委員会）

毎年秋に洛西ニュータウンの緑豊かな自然や，子育て環境に優れた住みよいまちの魅力を発信することを目的としたイベント，「楽祭 in らくさい」を開催しています。京都市の生物多様性に関するパネルの展示や，きょうと動画情報館配信の動画「知っていますか？ 生物多様性」の再生を通じて，生物多様性保全について普及・啓発を行っています。

写真
（今年度開催分を掲載予定）

○親子生きもの探偵団　地域生きもの探偵団

洛西ニュータウンの豊かな生物多様性を学ぶことを目的に，親子生きもの探偵団を１回（平成２７年８月），地域生きもの探偵団を２回（平成２７年９月及び１０月）開催しました。

・平成２７年度第３回親子生きもの探偵団

平成２７年８月３日開催の，親子生きもの探偵団では，３７名の小学生と保護者の方々に参加していただきました。最初に，京都精華大学の板倉教授を講師として，小畑川で水生生物を観察しました。子供たちは，川の石の下など意外な場所から，様々な生きものを発見しました。発見した生きものは講師の先生に詳しく解説していただきました。次に，洛西竹林公園に移動し，洛西竹林公園の渡邊専門員を講師として，公園内の様々な種類の竹について解説していただき，最後に，竹細工（笛，竹トンボ）作りを体験しました。

○生物多様性啓発特別番組及びＤＶＤの制作

洛西ニュータウンの豊かな自然環境を紹介する，生物多様性啓発特別番組「洛西いきものグラフティ」を制作し，洛西地域のケーブルテレビで放映しています。また，番組のＤＶＤを作成し，生物多様性豊かなニュータウンの魅力を多くの人に知っていただけるよう洛西支所地域力推進室まちづくり推進担当，右京中央図書館等で貸し出しています。洛西ニュータウンの様々な樹木，草花，生きもののほか，小学校の環境学習の様子等も紹介しています。

別紙2

京都市における生物多様性保全に関する事業一覧

（平成27年度）

担当局等名	担当所属名	事業名	事業の概要
環境政策局	地球温暖化対策室	屋上ビオトープ整備	京エコロジーセンターでは，屋上にあるビオトープを，生きものと人とのつながりを学ぶ場として，ボランティアと共に維持・管理・活用している。
環境政策局	地球温暖化対策室	エコセンえこそらキッズ事業	京エコロジーセンターでは，屋上にある畑やビオトープを活用し，親子で食の循環を学ぶ事業を実施している。 土づくりから播種，植え付け，施肥，収穫，調理，堆肥作り，生きもの観察，緑のカーテン作り等を実施している。
環境政策局	地球温暖化対策室	環境啓発事業	京エコロジーセンターでは，環境問題に関心を持ってもらうための啓発イベントを実施している。生物多様性に関しては，森林を活用した持続可能な暮らしを提案することを目的とした「ひとときフェスタ」等のイベントを毎年開催している。
環境政策局	地球温暖化対策室	「エコ学区」事業	環境にやさしいライフスタイルへの転換と地域や家庭から排出される温室効果ガスの削減を促進するため，地域ぐるみで更なる環境意識の高揚と環境活動の実践が図られるよう，京都ならではの地域コミュニティである「学区」を支援している。 各学区では，「グリーンカーテン」や「里山保全」を含む幅広いエコ活動が実施されている。
環境政策局	地球温暖化対策室	京のアジェンダ２１推進事業	環境への負荷の少ない持続型社会の構築に向けた行動計画「京のアジェンダ21」及び京都市地球温暖化対策条例等に基づき，市民・事業者・行政のパートナーシップのもと「京のアジェンダ２１フォーラム」を設置し，フォーラムを中心として，様々なエコアクションを推進している。 京都環境コミュニティ活動（KESC）プロジェクトでは，森林保全活動や里山保全活動等を行っている。
環境政策局	地球温暖化対策室	環境副読本の作成	環境問題への理解を深めるために，最新データをもとに，毎年作成し，市内の全小中学校に配布している小学５年生用及び中学生用の環境副読本において，京都の自然環境の紹介をはじめ，生物多様性を扱っている。
環境政策局	環境管理課	環境影響評価制度の運用	京都市の優れた自然環境の一層の保全に向け，事業が計画された時点において，環境への影響が少ない事業となるよう計画段階環境配慮手続を事業者に義務付け，計画段階から生物多様性への配慮を求めている。 また，生物多様性の保全に対して，最も影響が大きいと考えられる土地の造成等の開発行為については，民間事業も対象とし，対象となる規模要件を厳しく規定している。
環境政策局	環境管理課	京都環境賞	生物多様性の保全活動等，環境の保全に貢献する活動を実践している個人，団体を顕彰することにより，環境に関する市民の関心を高め，様々な実践活動の更なる推進を図っている。
環境政策局	環境管理課	省エネルギー型事業活動の推進 （ＫＥＳ認証取得の促進）	市内の事業者等に対して，ＫＥＳ認証取得を促すことで，省エネ，省資源等の取組と併せて，緑化等の生物多様性保全に配慮した活動の促進を図っている。
環境政策局	環境管理課	京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度	京都の祭りや文化を支えてきた生きものの保全・再生のため，活動していただく団体の取組を認定し，必要に応じて技術的な支援のための専門家を派遣する「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度」を創設し，推進している。
環境政策局	環境管理課	京の生きものホットスポット調査	市内の生物多様性保全上重要な場所（ホットスポット）において，活動団体等と連携し，生きものの生息状況のモニタリング調査を行っている。
環境政策局	環境管理課	親子生きもの探偵団	京都市の生物多様性の保全に向けた行動の必要性を理解していただくための環境教育・普及啓発の一環として，親子を対象にした自然観察会「親子いきもの探偵団」を開催している。
環境政策局	環境管理課	地域生きもの探偵団	生物多様性の大切さや豊かな地域の魅力を学ぶことを目的として，市内の小学校・児童館が授業等で実施する生きものの観察に，本市が専門家を派遣し，児童に多様な生きものたちのつながり等について解説する「地域生きもの探偵団」を実施している。
環境政策局	環境管理課	まちかど生きもの観察記	子どもたちが本市の豊かな自然に触れ，生きもののつながりの大切さなどについて理解を深められるよう，身近なまちかどで発見した生きものの情報を作品にした「まちかど生きもの観察記」を募集している。

担当局等名	担当所属名	事業名	事業の概要
環境政策局	環境管理課	京都生きもの１００選	京都市内で四季折々に見られる生きもの等，身近な自然に関する情報から市民投票等により「京都生きもの１００選」を選定する。
環境政策局	環境管理課	「京・生きものミュージアム～京都市生物多様性総合情報サイト～」	生物多様性に関する様々な情報を収集・発信するとともに，市民，活動団体，事業者など多様な参加者を結び付ける役割を担う生物多様性専用ホームページ「京・生きものミュージアム～京都市生物多様性総合情報サイト～」を開設し，活用している。
環境政策局	環境管理課	京都市生物多様性保全活動登録制度	本市における生物多様性保全活動が効率的かつ効果的に行われることを目的として，生物多様性保全活動に参加を希望する市民の皆様と，市民の皆様の協力を希望する保全活動団体を結び付ける，「京都市生物多様性保全活動登録制度」を創設し，運用している。
環境政策局	環境指導課	環境モニタリング調査	公害対策として，法令等の規定に基づき，大気汚染，水質汚濁，地下水汚染，ダイオキシン類等に関する各種環境モニタリング調査を実施している。
環境政策局	環境指導課	京都市環境保全基準の設定	市民の健康を保護し，快適な生活環境及び良好な自然環境を保全するうえで維持することが望ましい基準として，「京都市環境保全基準」を定めており，本来国の基準では適用されていない河川に対しても，水生生物の生息状況等を考慮して基準を適用できるようにするなど京都の地域特性を加味した基準としている。
環境政策局	廃棄物指導課	産業廃棄物の不適正処理対策	産業廃棄物の不法投棄など，不適正処理行為が頻発又は継続する地域の定期的なパトロール，ヘリコプターによる空中監視，京都府，滋賀県及び大津市との合同による産業廃棄物運搬車両に対する路上検問活動等を実施している。
環境政策局	施設整備課	京都市南部クリーンセンター第二工場建替え整備事業	京都市循環社会推進基本計画(2009-2020)に基づき，将来にわたってごみの適正処理を安定的に維持するために，南部クリーンセンター第二工場を建替え整備するにあたり，楽しく学べる世界最先端の環境学習の拠点となるよう整備することとし，屋上緑化，壁面緑化及び緑地の確保やビオトープ等を計画している。
行財政局	総務課	市庁舎整備事業	現在，検討を進めている市庁舎の整備において，屋上緑化・壁面緑化の設置など，生物多様性に配慮した施設整備を行う。
行財政局	総務課	産官学連携事業 （交通局×京都市立芸術大学×京都水族館）	京都市立芸術大学では，学外連携を積極的に進め，研究成果を地域社会に還元している。環境保全と生態系保護をテーマに自主制作したオオサンショウウオのキャラクター「オオさんショウさん」が，交通局，京都水族館，京都市立芸術大学の連携事業のキャラクターとして採用され，京都マラソン，東山花灯路等の様々なイベントで活躍している。現在は京都水族館のキャラクターとしてぬいぐるみ等のグッズ販売もされている。
文化市民局	地域自治推進室 地域づくり推進担当	野生鳥獣による生活環境被害防止対策及び自主防除組織支援対策	サルの対策として，地域住民が主体となった自主防除組織の設立やサル追払い活動等に対する支援等を実施している。 また，アライグマによる被害軽減のため，生息状況調査等を実施し，対策を強化している。
文化市民局	文化芸術企画課	五感で感じる和の文化事業	伝統芸能を研究・創造・普及するための拠点施設となる「国立京都伝統芸能文化センター（仮称）」の創設を目指し，センターの機能として想定する事業を「五感で感じる和の文化事業」として先行的に実施。伝統芸能を気軽に鑑賞，体験できるワークショップや公演等の開催により，鑑賞者の裾野を広げる取組をしている。
文化市民局	文化芸術企画課	二条城で楽しむ古典芸能	心豊かな暮らしや文化的で活力ある社会の実現を目指し，古典に関する普及啓発を実施している。 古典が市民に親しまれるよう，本市独自の古典芸能等の発信事業を二条城で開催している。
文化市民局	文化芸術企画課	琳派400年記念事業	平成27年（2015年）は，本阿弥光悦が徳川家康から鷹峯の土地を拝領した元和元年（1615年）から400年目に当たり，「琳派400年」という記念すべき年である。この記念すべき年に，琳派に関連する文化芸術と産業のエネルギーをオール京都体制で結集することにより，京都のまちの全体の活性化を目指す。
文化市民局	文化財保護課	特別天然記念物オオサンショウウオ緊急生息調査	鴨川水系に生息する国の特別天然記念物であるオオサンショウウオ（在来種）とチュウゴクオオサンショウウオ（外来種）の交雑が進み，日本在来種の絶滅が危惧されるため，市内の全水域を対象として，オオサンショウウオのＤＮＡ鑑定による在来種,外来種,交雑種への分類を実施している。 外来種及び交雑種については一時保管している。
文化市民局	文化財保護課	京の食文化継承の取組 「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録	京都をつなぐ無形文化遺産に「京の食文化」を選定し，また，「和食;日本人の伝統的な食文化」がユネスコ（国際連合教育科学文化機関）無形文化遺産に登録されたことから，食生活の原点となる家庭での食事や学校給食等で「京の食文化」を世代を超えて受け継いでいくよう取組を推進する。

担当局等名	担当所属名	事業名	事業の概要
文化市民局	文化財保護課	天然記念物深泥池生物群集の保全・活用	天然記念物「深泥池生物群集」を保全するため，調査を継続しながら，池の生態系改善に取り組む。
文化市民局	文化財保護課	岡崎庭園群の文化的景観の保全	白川・琵琶湖疏水の水系によって形成された岡崎地域の優れた都市景観について，平成26年9月，国の重要文化的景観へ選定申出を行った。引き続き，保存計画に基づき，自然と共生した独自の文化的な景観を保全していく。
文化市民局	美術館	美術館再整備事業	現在，検討を進めている美術館再整備基本計画において，太陽光発電，屋上緑化，コージェネレーションの設置等を検討し，環境に配慮したものとなるようにする。
文化市民局	動物園	希少野生動物種の域外保全	ゴリラ，チンパンジー，グレビーシマウマ，ツシマヤマネコ等の希少野生動物種について，飼育展示を行うとともに，「種の保存」を目的とする研究及び繁殖を実施している。
文化市民局	動物園	京都市動物園におけるゾウの繁殖プロジェクト	ラオスから子ゾウ４頭を導入し，ゾウの繁殖・生息域外保全を目指した研究を行う。 ラオスとの人的交流により，飼育，繁殖及び研究の成果をラオス国内に還元し，生息域内の保全活動も行う。
文化市民局	動物園	野生鳥獣救護事業	京都市内で救護された野生鳥獣に対し，園内の救護センターで治療や保護飼育を行う。（京都府からの委託事業）
文化市民局	動物園	新「京都市動物園構想」の推進　「京都の森」整備	「豊かな森を感じてみよう」を基本テーマに，京都の豊かな自然を伝え，ヒトと野生動物の関わりを学べる場とする。 身近な自然に関する情報を展示・提供し，地域の自然環境保全に貢献できる施設とする。希少淡水魚類の保全・繁殖を行う。
文化市民局	元離宮二条城事務所	二条城ライトアップ事業	世界遺産である元離宮二条城の優れた文化的価値を実感していただくため，城内の桜をはじめとする庭園等優れた自然環境を活かしたライトアップを実施している。
産業観光局	中央卸売市場第一市場	京都駅西部エリアにおける生物多様性豊かなまちづくり	食の拠点である京都市中央市場及び同市場内に設置している京の食文化の素晴らしさを実感できる京の食文化ミュージアム・あじわい館，梅小路公園，水とつながる命の学び館である京都水族館を生物多様性に接する拠点として，京都駅西部エリアにおける豊かなまちづくりを進めていく。
産業観光局	農政企画課	水田農業構造改革対策事業（米の生産調整対策）	需要が高い野菜･花きの作付により水田の有効活用を推進し，地域農業の発展を進めるとともに，需要に見合った魅力ある米の生産を実践する。 また，リサイクル資材を活用して低農薬，低化学肥料栽培の基礎となる土づくりを推奨する。
産業観光局	農政企画課	担い手育成支援事業	農業経営の目標を明らかにし，効率的・安定的な農業経営を育成するとともに，都市農業の特徴を生かし，市民生活と調和の取れた農業を形成する。
産業観光局	農政企画課	農業・農村多面的機能強化事業	本市中山間地域等において，適正な農業生産活動等が図られるとともに，これにより，農業・農林が持つ多面的機能（水源かん養や洪水防止等）が健全に発揮され，下流部の都市住民を含む多くの市民の生命や財産，豊かな暮らしが守られることを目指す。 不耕作地の増加や農業用施設（農地や農業用水路等）の老朽化により，農村集落機能が低下していることから，地域住民で結成された活動組織が，集落全体で適切に保全管理していくよう，良好な農村環境と集落コミュニティを復活させ，農村集落機能の回復を図る。
産業観光局	農政企画課	有害鳥獣被害防止対策事業	年々深刻化している有害鳥獣による農作物被害を未然に防止し，良好な営農環境を確保することにより，農業経営の安定と農地・農業の持つ多面的機能や集落機能の維持を図る。
産業観光局	農政企画課	北部農林業地域活性化対策事業	左京区北部農林業地域において，地域内農産物を用いた特産加工品の開発等，地域資源を活用した地域活性化につなげる。
産業観光局	農業振興整備課	農業啓発	市民が花と緑に親しむことにより，生産･流通・消費各段階における花き振興を図る。 市民が京都市農林業の果たす役割を理解し，意識的に市内産農林産物を購入することにより，市内農林業の維持発展を図る。
産業観光局	農業振興整備課	農業基盤整備事業	農業生産の維持保全のため，農業水利施設等の農業生産環境の整備を行うとともに，農地の多面的機能の発揮を図る。
産業観光局	農業振興整備課	農とふれあう総合体験型市民農園運営事業	総合体験型市民農園を拠点に，環境にやさしい都市型農業の一形態として市民農園経営を普及することにより，環境にやさしく，かつ経営良好な市民農園を増加させ，多くの市民に園芸活動に参加いただくのに十分な市民農園区画数を確保する。

担当局等名	担当所属名	事業名	事業の概要
産業観光局	農業振興整備課	園芸振興	環境に優しい方式で栽培する生産農家の拡大と生産量の拡大を図ることで，新鮮で栄養価の高い京の旬野菜の購入を促す。
産業観光局	農業振興整備課	京の川の恵みを活かす事業	京の食文化を支えてきた天然アユなどが息づく自然を取り戻す取組等に，様々な主体の参画を図っている。 天然アユなどの京の川の恵みを豊かにし，持続的な活用を図ることにより，内水面漁業の活性化に繋げる。
産業観光局	林業振興課	森林整備事業	植林から間伐・保育に至る一貫した森林施業を計画的・組織的に実施し，森林の持つ公益的機能の維持増進や地域林業の振興を図る。
産業観光局	林業振興課	森林病害虫被害防止対策事業	松くい虫及びカシノナガキクイムシの駆除を実施することによって，枯死木の数を減らし，森林の持つ公益的機能の維持・増進を図る。
産業観光局	林業振興課	有害鳥獣捕獲事業	野生鳥獣による農林作物被害を軽減し，農林業の安定化を図るため，農林家による地域ぐるみの防除対策と組み合わせて，有害鳥獣の捕獲を実施する。
産業観光局	林業振興課	林業担い手対策事業	林業研究会の活動支援や林業労働者の労働条件の改善によって，長期就労の促進など林業・森林保全の担い手を確保し，森林の持つ公益的機能が持続的に発揮可能な体制整備を図る。
産業観光局	林業振興課	伝統文化の森推進事業	市民や法人の参画により森林の保全・整備活動により，東山風景林を中心とした森林の整備を進める。
産業観光局	林業振興課	地域産材利用促進強化事業	京都市の地域産木材「みやこ杣木」の需要を拡大し，市域の林業の活性化を図るため，「みやこ杣木」認証制度の運用支援を行う。 また，住宅や店舗等の新築，増改築における市内産木材の利用に対し支援するとともに，需要拡大につながる啓発活動等に対する支援を行う。
産業観光局	林業振興課	森の力活性・利用対策～地球温暖化防止森林吸収源対策～	材価の低迷や後継者不足等により適正な整備が行われていない森林に対し，計画的な間伐等を実施し，二酸化炭素吸収源となる健全な森林の育成を図る。
産業観光局	林業振興課	木質ペレット需要拡大事業	木質ペレットストーブ及びボイラーの普及を促進し，間伐材等を活用した木質資源のエネルギー化を推進することにより，本市の健全な森林整備につなげるとともに温室効果ガスの排出量を削減し，低炭素社会の実現を目指す。
産業観光局	林業振興課	山村都市交流の森運営管理	自然と文化を活かした地域活性化の拠点としての機能を発揮させる。
産業観光局	林業振興課	北部振興拠点イベント実施	花脊峠以北５集落の自然環境や地域文化に触れる機会を創出し，地域の活性化と市民の健康の増進，交流とレクリエーションの機会の拡大を図る。
産業観光局	林業振興課	木質資源利用推進事業	木質ペレットの普及を促進し，間伐材等を活用した木質資源のエネルギー化を推進することにより，本市の健全な森林整備につなげ，本市が目指す低炭素社会の実現を目指す。
産業観光局	林業振興課	「合併記念の森」創設事業	京北地域にある市有林を中心に企業・市民参画による新たな森づくりを行うとともに，木の文化を守る森づくりを通じた林業振興を図る。
保健福祉局	児童家庭課	桂坂野鳥遊園補助	京都市社会福祉協議会が西京区桂坂の山林に，池を中心に湿地・ススキやクマ笹等を配置した平地，樹林など，たくさんの野鳥が快適に生活することができる生態環境を整えた「バード・サンクチュアリ」と自然林の中に散策路を配置した「裏山ゾーン」で，自然や野鳥の観察を行いながら，子ども同士あるいは親子のふれあいを通じて，児童の健全育成・環境保護の啓発を行う事業に対し運営費の助成を行う。
保健福祉局	保健医療課	食育指導員養成事業	地域に密着した食育推進の担い手のなる「食育指導員」を計画的に養成するとともに，活動の支援体制を整え，保健センター，保育所（園），学校，地域等において，料理教室等の体験活動を行うほか，食文化の継承や食を通じた健康づくり，環境負荷の軽減等の普及促進を行う。
保健福祉局	保健医療課	食育セミナー	食を適切に判断・選択・選択する力を身につけ，より望ましい食生活を実現するため，保健センター又は地域に出向いて，食育に関するお話や調理実習等を行う。
保健福祉局	保健医療課	ホームページ「京・食ねっと」での総合的な情報発信	行事食やおばんざい等の京の伝統に根差した料理レシピ等の紹介や，健康づくり，地産地消の推進，環境負荷の軽減，食文化の継承，食品の安全性など，ホームページで食に関する様々な情報発信を行い，家庭や地域における主体的な食育の推進を支援する。
都市計画局	都市計画課	生産緑地地区の指定	市街化区域内の農地を優良な自然環境の保全又は公共用地の確保の観点から生産緑地地区に指定するもので，生産緑地地区に指定されると，建築行為等の制限が課される代わりに都市計画税及び固定資産税の軽減が図られる。

担当局等名	担当所属名	事業名	事業の概要
都市計画局	風致保全課	三山森林景観保全・再生ガイドラインの推進	良好な三山の森林景観を守り続けるため，森林景観づくりの方向性を示した「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」を広く普及啓発することにより，市民等との協働による森林景観づくりの輪を三山全体に広めていく。
建設局	みどり政策推進室（（公財）京都市都市緑化協会）	「いのちの森」のモニタリング活動とモニタリンググループとの連携・支援	梅小路公園内の「いのちの森」は，都市空間に自然の生態系を復元した貴重なビオトープであり，専門家及び市民によるモニタリング活動が行われている。梅小路公園の指定管理者である京都市都市緑化協会は，「いのちの森」モニタリンググループとの連携や支援を行うとともに，自然観察会の定例開催や「いのちの森」の案内ガイドの養成等を行っている。
建設局	みどり政策推進室	街区公園等の身近な公園の整備	街区公園等の地域の身近な公園を歩いて行ける範囲に整備を行う。
建設局	みどり政策推進室	公園の再整備の推進	誰もが安心して，安全に利用できるよう，また，地域の活性化につながるよう，公園の再整備を進める。
建設局	みどり政策推進室	大規模公園，その他特色のある公園等の整備	宝が池公園や梅小路公園，淀城跡公園，水垂運動公園等，特色ある公園の整備を推進する。
建設局	みどり政策推進室	保存樹等指定に伴う市街地のみどり保全事業	京都市指定保存樹の状態を把握するとともに，樹勢回復等に係る費用の一部を助成する。
建設局	みどり政策推進室	京（みやこ）のまちなか緑化助成事業	建築物の屋上・壁面や道路に面する敷地，駐車場において，新たに樹木の植栽等を行う際，設置費用の一部を助成する。
建設局	みどり政策推進室	御池通スポンサー花壇事業	企業等の協賛及び，沿道市民等の協力を得て，本市のシンボルロードである御池通に花壇を設置し，歩いて楽しい緑と花いっぱいのまちづくりを推進する。
建設局	みどり政策推進室	記念植樹奨励事業	「花の名所」づくりを目指し，慶事を迎えた市民・企業・団体からの寄付を受け，植樹を行う。
建設局	みどり政策推進室	市民公募型緑化推進事業	緑化についての意見等を市民から公募し，緑化を行うことにより，良好な都市景観の形成，防災機能の向上，緑を核とした地域コミュニティの形成を目指す。
建設局	みどり政策推進室	緑視環境創造プロジェクト道路の森づくり事業	京都市内には，多様な生物が生息し「緑の拠点」となっている，京都府立植物園，船岡山公園，京都御苑，吉田山，及び二条城などが点在しており，また，鴨川，高野川，賀茂川及び桂川が市内を縦断している。 多様な昆虫類や鳥類が移動できる緑環境とするため，幹線道路の中央分離帯に新たにケヤキ等の高木を植栽することで，幹線道路の緑環境を補完し，「水と緑のネットワーク」及び「緑の回廊（コリドー）」を形成していく。
建設局	河川整備課	高瀬川周辺一帯の魅力ある水辺づくり	高瀬川の護岸の補修工事において，高瀬川の景観に重要な役割を果たしている街路樹のサクラやヤナギ等に配慮した整備を行うとともに，沿川における他事業や地域との連携も含め，周辺一帯の魅力ある水辺づくりをめざす。
建設局	河川整備課	市民にわかりやすい新たな指標による水環境の評価	水辺環境の保全・再生に取り組むなかで，ホタルの成育に適した環境の創出を目指し，市民や環境団体との情報交換及び連携を図っている。
建設局	河川整備課	善峰川都市基盤河川改修事業	善峰川では，治水安全度の向上を図るとともに，自然環境の保全を目的とし，植生に配慮した多孔性護岸や魚類等の水中生物に配慮した緩傾斜落差工を採用し，多自然川づくりの実現に取り組んでいる。
建設局	河川整備課	有栖川都市基盤河川改修事業	地元，学校及び行政が一体となって有栖川の河川環境の向上や多自然川づくり等について検討を行い，親水性が図られた河川改修を実施していくとともに，市民等は清掃活動だけでなく，生物調査，ほたる鑑賞など住民参加活動により，環境保全や河川環境を学ぶきっかけとしている。
建設局	河川整備課	七瀬川都市基盤河川改修事業	七瀬川の河川改修において，二層式河川の上部をせせらぎや植栽を活かした親水空間として整備した。
建設局	河川整備課	岩倉川・長代川都市基盤河川改修事業	長代川の河川改修では，流域の景観と動植物の育成環境に配慮した護岸としている。
建設局	河川整備課	高瀬川　崇仁ビオトープ事業	ワークショップにより地域住民の意見を集約し，親水性を重視したビオトープを崇仁小学校の校庭に整備した。
建設局	河川整備課	堀川水辺環境整備事業	堀川に，せせらぎ水路等水辺空間を整備することにより，「憩い」と「やすらぎ」の親水性のある水辺空間を創出した。

担当局等名	担当所属名	事業名	事業の概要
北区役所	地域力推進室	有害獣対策	サルによる生活環境被害のある学区の住民や区役所をはじめとする行政機関で「北区猿害対策協議会」を設置し，相互に連携して，追い払いや防除などの対策を実施している。
左京区役所	地域力推進室	左京の自然を愛でるプロジェクト ～チマキザサの再生を左京から～	絶滅の危機に瀕する北部地域のチマキザサを再生し，再び祇園祭や和菓子，料理業界で活用されることを目標にしており，公募の市民と元自生地にチマキザサを移植し，防鹿柵で囲うことで保全を実施している。
左京区役所	地域力推進室	左京旬の朝市	野菜をはじめとする様々な地元産品を販売する朝市を年２回開催し，左京区の魅力である自然環境の豊かさを多くの市民にＰＲするとともに，地産地消を推進することを目的に実施している。
左京区役所	地域力推進室	鳥獣害対策	サル，イノシシ，シカなどによる生活環境被害のある学区で「獣害対策チーム」を設置し，区民，区役所，農業振興センター，猟友会などの関係機関と連携して，追い払いや防除などの対策を実施している。
中京区役所	地域力推進室	まちなか緑化推進事業（区総合庁舎の緑化等）	区民ボランティアとともに，屋上庭園及び区役所周辺花壇の維持管理を行うとともに，緑化啓発など中京区内の緑化の推進を図るための活動を行う。 区役所屋上でニホンミツバチを飼育し，ミツバチとの「共生」という視点からもまちなか緑化を推進する。
中京区役所	地域力推進室	ヒオウギの育成	祇園祭に飾られることの多いヒオウギを，高倉小学校等との協働で育成し，緑化を通じて，地域に受け継がれてきた文化の継承を図る取組を行う。
山科区役所	地域力推進室	鳥獣害対策	サル，イノシシ，シカなどによる生活環境被害のある学区の住民や区役所をはじめとする関係行政，猟友会等で「山科区獣害対策チーム」を設置し，相互に連携して，追い払いや防除などの対策を実施している。
総合企画局・下京区役所	市民協働政策推進室プロジェクト推進担当	京都駅西部エリアにおける生物多様性豊かなまちづくり	食文化の発信基地である中央卸売市場第一市場と梅小路公園，水とつながる命の学び館である京都水族館，京の食文化の素晴らしさを実感できるあじわい館を，生物多様性に接する拠点として，京都駅西部エリアにおける豊かなまちづくりを進めていく。
右京区役所	地域力推進室	有害獣対策「右京もみじプロジェクト」	右京区北部の山間地域では，近年，シカによる農林業への被害が顕著となっている。シカの有効的な利活用，地域の活性化及び雇用創出につながる調査・研究を基に，有害獣対策「右京もみじプロジェクト」計画書を策定した。策定した計画書を獣害担当部署に引き継ぎを行った。
右京区役所	地域力推進室	宕陰地域活性化アクションプラン推進事業	地域の財産である棚田や里山などの美しい風景や環境を維持し活用していくことを目標として，地域と連携した取組を推進している。
洛西支所	洛西の河川を美しくする会（地域力推進室）	洛西の河川を美しくする会	洛西支所管内の７学区の自治会で組織された「洛西の河川を美しくする会」が，毎年５月に啓発活動，７月に河川の美化清掃活動を実施している。
洛西支所	なんやかんや大原野事業（地域力推進室）	なんやかんや大原野事業	平成２５年度から農家の方々による任意団体「なんやかんや大原野 農家版」が，休耕田を活用して65,000本のひまわりを育成し，開花イベントを開催している。また，平成２６年度からは，大原野の地域ブランド化を目指して活動しておられる地域の方々が，大原野で原種が発見されたフジバカマを休耕田で育成し，珍蝶アサギマダラを飛来させ，満開時にイベントを開催した。平成２７年はさらに耕作地の拡大を計画するなど，地域をあげて自然豊かな大原野の地域特性を活かした魅力発信に取り組んでいる。
洛西支所	地域力推進室	洛西地域猿害等対策協議会	洛西支所管内の７学区・地域の住民で構成される「洛西地域猿害等対策協議会」が，野生鳥獣による生活被害を未然に防ぎ，住民の安心・安全を確保するための活動として，猿害対策勉強会を開催するほか，追い払いグッズの配布・貸出し（いずれも無償）を行っている。
洛西支所	地域力推進室	洛西ニュータウン創生推進委員会	洛西ニュータウンの住民・事業者などで構成される「洛西ニュータウン創生推進委員会」が，自然観察会や生物多様性に関する講演会を開催するほか，豊かで美しい緑環境の形成・管理に関する独自の指針を提言している。
洛西支所	地域力推進室	生物多様性のまち・洛西	洛西ニュータウンをはじめとした洛西地域の豊かな生物多様性を広く内外へアピールするとともに，それを保全する取組を住民，事業者，学校等が連携して推進する。
深草支所	地域力推進室	ふかくさ自然環境再生ネットワーク	地域住民の深草に対する愛着を育むとともに住民間の一層の交流を深めることを目的として，深草丘陵一帯の環境の再生と保全のための活動を実施している。
教育委員会事務局	教育環境整備室	学校ビオトープ	自ら環境問題に気づき，環境保全に向けて行動できる子どもたちの育成を目指し，各学校で独自のビオトープを設置し，環境教育の充実に取り組んでいる。

担当局等名	担当所属名	事業名	事業の概要
教育委員会事務局	学校指導課	環境教育スタンダードの作成・活用	新学習指導要領の全面実施に合わせ，教科等を超えて横断的・総合的に環境教育を推進するため，小中一貫して環境教育を学ぶ仕組みとして作成した，京都ならではの「京都市環境教育スタンダード」を活用し，全市的に環境教育の一層の充実に取り組んでいる。
教育委員会事務局	学校指導課	全市立学校・幼稚園における環境宣言の策定	環境を身近な問題として捉え，幼児・児童・生徒・教職員の環境意識の一層の高揚を図るとともに，学校・家庭・地域が一体となった取組を積極的に推進するため，各校園が環境教育の基本方針として「環境宣言」を策定，取組の展開を図っている。
教育委員会事務局	学校指導課	ＫＥＳ学校版	小・中・総合支援学校において，環境マネジメントシステム「KES学校版」の認証取得を目指し，環境にやさしい学校づくりに向けた取組を推進する。
教育委員会事務局	学校指導課	京都商工会議所・小学生への環境学習事業	児童が環境や科学への興味を深める機会として，環境問題に積極的に取り組んでいる京都の企業が学校を訪問し，自社の取組や技術を紹介しながら環境学習を行う。
教育委員会事務局	学校指導課	日本料理に学ぶ食育カリキュラム推進事業	京料理店主や老舗料理店の主人等でつくる「日本料理アカデミー」協力のもと，プロの料理人を講師に，日本料理を通して食への感謝の心や理解を深められるような京都ならではの食育を推進している。
教育委員会事務局	学校指導課	事業者等との連携による食育授業	事業者や団体と連携し，市立小学校において野菜の栽培等を通じて，子どもたちに食物を育てる大変さや喜びを体験させ，食に対する興味・関心を高めさせることを目的として，食育授業を実施している。 さらには，事業者の農場を活用した栽培・収穫体験も実施している。
教育委員会事務局	学校指導課	伝統文化体験事業	わが国の伝統と文化を理解し，それらを尊重する態度の育成を図るため，京都に息づく伝統文化，伝統芸能，伝統産業を児童・生徒が直接体験する学校教育活動を全小中学校で実施している。
教育委員会事務局	学校指導課	一日どうぶつ園	市立幼稚園において，動物に対する愛情を深め，生命を大切にする気持ちを育むことを目的に，３０種類程度１００匹以上の動物と身近に接する「一日どうぶつ園」を実施している。
教育委員会事務局	生涯学習部　家庭地域教育支援担当	歴史都市・京都から学ぶジュニア京都検定	世界有数の歴史都市である京都の暮らしに息づく優れた文化を守り，京都の良さを次代へ継承していく子どもたちを育むため，子どもたちが知識と共に体験を通して学ぶ機会を創出する取組として，検定を実施している。
教育委員会事務局	生涯学習部　家庭地域教育支援担当	みやこ子ども土曜塾	土曜日・日曜日・夏休み等の学校休業日において，市民ぐるみで京都ならではの多様な学習資源を生かした豊かな学びと育ちの場を提供している。
教育委員会事務局	総合教育センター研修課	教職員研修	教職員が多様化する教育課題に適切に対応できるよう，教職員の職層や校務分掌，経験年数に応じた，自然観察指導等を含めた教職員研修の充実を図っている。
教育委員会事務局	総合教育センター研究課	教育課題研究	これからの教育実践の在り方や方法を，学習プログラムや教材などを開発して具体的に提起するため実践研究を進めている。 小学校の伝統と文化に関する教育活動において，「京都や地域の伝統と文化」に対しての理解や考えを深めることにつながる学習方法について，研究を行っている。
教育委員会事務局	花背山の家　事業課	長期宿泊・自然体験推進事業	子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むことを目的とし，花背山の家での長期の宿泊体験・自然体験活動を実施している。 （京都市立小学校全校の原則５年生が対象）
上下水道局	下水道部管理課	公共下水道事業	市内河川や下流都市の水道水源となる水域の水環境を保全するため，下水道の整備・普及，高度処理施設の整備，合流式下水道改善のための幹線整備等を進めている。 また，太陽光発電設備の設置，施設の省エネルギー化，資源の循環などを推進し，低炭素・循環型まちづくりに貢献する。
上下水道局	下水道部鳥羽水環境保全センター	せせらぎ水路	下水処理水の再利用施設として「せせらぎ水路」の整備・維持管理を行い，下水道事業の普及啓発の観点から環境学習等の場として活用している。 また，下水道に親しみを持ち憩いの場として利用できるよう施設を開放している。